

内蒙古図牧吉における越冬ノガンの個体数と分布

李曉民¹・劉学昌¹・周景英²・程万軍²・伊国良²・呉宝喜²

1 東北林業大学野生動物資源学院

2 内蒙古図牧吉国家級自然保護区

訳 福井和二

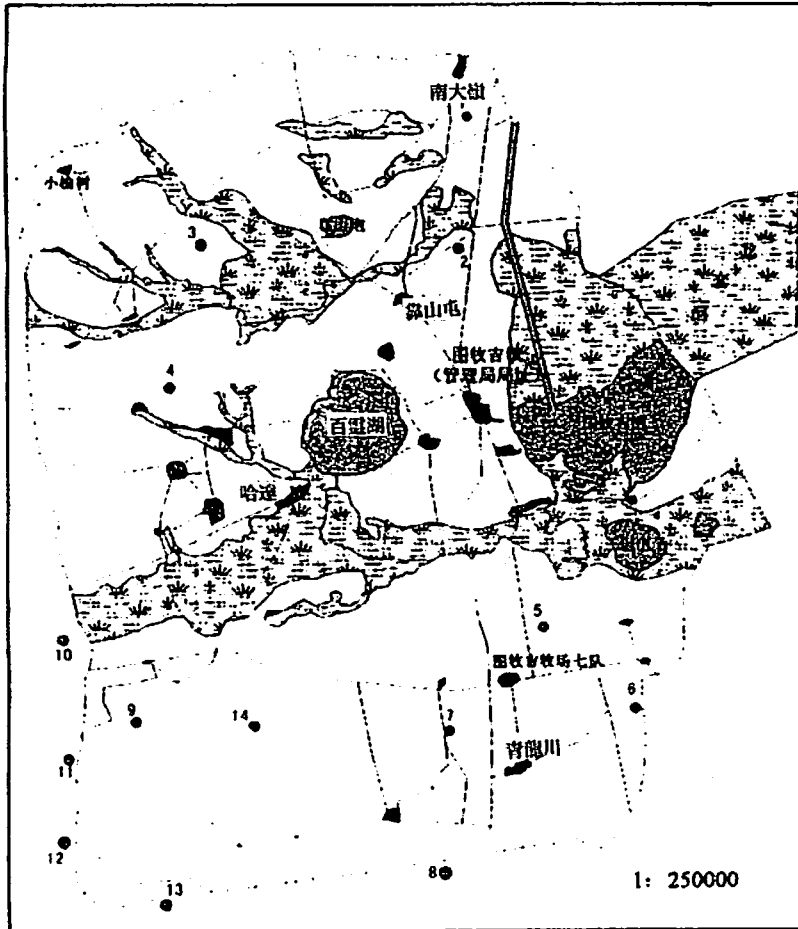
20世紀80年代、^{フム+}図牧吉ではノガンは夏鳥であった。毎年約300羽のノガンが繁殖していた。春には800羽以上のノガンが渡ってきてきていたが、その後環境の変遷と卵、雛などの捕獲や狩猟により数が急速に減少した。90年代の中ごろには繁殖数が50羽ほどになってしまった。保護区の建設以後、生息地の管理および法制度の宣伝につとめ、乱獲乱猟に対しては厳しく取り締まりを強化したので、人々の環境保護意識も次第に高まり、ノガンの個体数は次第に回復した。2003年の調査では本区で繁殖したノガンは100対を越えた。周辺地区の繁殖個体も含めて150余対となった。








図牧吉におけるノガンの越冬個体数については、今まで報告されていない。1998年後、越冬個体が現れ始め、35羽が毎年越冬していた。2000年から越冬個体が次第に増えて、2003年には100羽を越えた。我が国の北方地域ではきわめて珍しい出来事である。2004年1月5日から12日筆者らは本区でのノガンの個体数と分布状況の基礎的な調査を行なった。その結果、165羽が越冬していることがわかった。その内保護区内で9群132羽、最大の群は47羽、保護区外では、5群33羽、最大の群は11羽であった(表1, 図1)。保護区の作業員が1月15日、保護区内で47羽の一群を見ている。これらはノガンの最大の越冬群である。

表1 図牧吉および周辺地区のノガンの個体数

No	地域	月日	個体数	No	地域	月日	個体数
1	南大嶺南	1.6	3	8	青龍川西北	1.8	5
2	靠山屯東南	1.6	14	9	哈達西南1	1.9	17
3	小榆樹東南	1.7	2	10	哈達西南2	1.9	7
4	百靈湖西	1.7	8	11	図牧吉牧場西	1.10	2
5	図牧吉牧場東北	1.8	3	12	青龍川牧場西	1.10	8
6	図牧吉牧場東南	1.8	15	13	青龍川牧場西北	1.10	11
7	青龍川西北	1.8	23	14	哈達南	1.15	47

図1 図牧吉自然保護区における越冬ノガンの分布図



- | | | |
|--|---|--|
|  住居 |  保護区境界 |  ノガン分布地 |
|  通行可能湿地 |  道路 | |
|  湖沼 |  水路 | |